

教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

# 八鹿青溪校区小中一貫教育だより

令和4年7月19日(火)

八鹿青溪校区小中一貫教育 校長会発行

第1号

## 9年間を見据えた「小中一貫教育」に取り組んでいます

八鹿青溪校区では、平成29年度から小学校4校（高柳小・八鹿小・伊佐小・宿南小）と八鹿青溪中が手を携え、小中一貫教育を進めています。一昨年度より保護者や地域の皆様方のご協力のもと、各校区で学校運営協議会が発足され、コミュニティスクールとしてもスタートしています。さらに充実した取組が推進できますよう、「小中一貫教育」へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 《令和4年度 八鹿青溪校区の学校・児童生徒数》

学校名	八鹿青溪中	高柳小	八鹿小	伊佐小	宿南小
児童生徒数(人)	241	100	249	68	24

### 今年度の運営計画

#### 1 八鹿青溪校区教育目標

「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

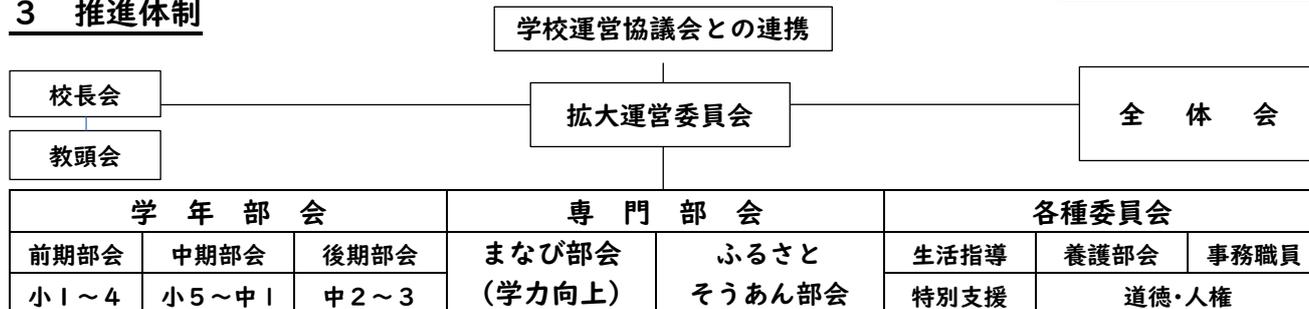
#### 2 八鹿青溪校区の小中一貫教育がめざす15歳像

- 「自立生活の基盤となる主体的な活動姿勢や資質が備わっている生徒」
- 「慎独」：自らを正し、うつくしい生き方をめざす生徒
  - 学ぶ喜びを感じ、自らを高める姿勢で着実に力をつける生徒
  - 苦難に立ち向かい、自ら課題解決に努める生徒
  - コミュニケーション力が備わり協調心や社会性が培われている生徒
  - 社会貢献の姿勢が備わり、協働して主体的に活動できる生徒
  - ふるさとに誇りを持ち、強い意志で将来の夢を描くことができる生徒
  - 勤労を尊び、夢や目標を持って、誠実に粘り強く取り組む子
  - 課題の発見・解決に向け、自ら学び、考え、高め合い支え合う子
  - ふるさと養父市の未来を見据え、地域に主体的に参画しようとする子



第1回 中学校への6年生登校の様子 7/5

#### 3 推進体制



#### 4 各部会の具体的な取組

- ①学年部会（前期：小1～小4）、（中期：小5～中2）、（後期：中2・中3）
  - ◎学習習慣・学習規律の定着 ◎「やぶ・ふるさとキャリア教育」の充実
- ②専門部会Ⅰ：まなび部会
  - ◎自主学習の充実 ◎家庭学習の定着 ◎授業規律の確立
- ③専門部会Ⅱ：ふるさとそうあん部会
  - ◎地域行事への参加推進 ◎そうあんくんの日の取組 ◎草庵先生の教えの活用
  - ◎「キャリアパスポート、キャリアノートの活用」 ◎お手伝い大作戦の取組(冬休み等)
- ④各種委員会 ※必要に応じて適宜開催

#### 5 主な取組

- ◎6年生登校(年3回) ※各学期に1回実施。今年度は7月5日に実施しました。
- ◎小中合同研修会 ◎「小中一貫教育だより」の発行 ◎各校の授業研究会への参加・交流
- ◎「トライやる・ウィーク」の各小学校への受け入れ

## ■今年の重点施策■「し・ば・ふ・か・の・わ」で「学力向上」をめざす！

「まなび部会」では、「学力向上」を目的に「自主学習」に重点的に取り組んできました。今年はいさらに、「し・ば・ふ・か・の・わ」を合言葉に、授業における①(し)姿勢、②(ば)板書、③(ふ)振り返り、④(か)環境整備、⑤(の)ノート指導、⑥(わ)話型に着目し、学びのスタイルを見直しながら授業改善を図り、児童生徒の学力向上をめざします。

## ■これまでの取組の成果■

平成29年度から令和3年度の5年間、小・中学校の教職員が合同チームを編成し様々な取組を実施してきました。取り組んだ内容と成果の一部を紹介します。

### ○6年生の中学校登校（年間3回実施の継続）

- ・6年生児童にとって、中学校入学に向けての不安感、抵抗感の軽減につながっている。
- ・小学生が中学生の授業や部活動の様子を見て、憧れの気持ちを持つことができた。
- ・新入生が中学校生活にスムーズに移行できている。中一ギャップの解消に成果が見られる。

### ○授業規律指導、学習タイムの設定・自主学習ノートの充実、「家庭学習のすすめ」の配布

- ・授業のスタート、学習活動がスムーズになった。授業に積極的な児童生徒が増えた。
- ・家庭学習時間を確保し、学校の課題以外に自主学習(自学)にも取り組む児童生徒が増えた。
- ・無回答が減り、課題に粘り強く取り組むことができるようになった。

### ○ふるさとキャリア教育・地域活動への参加、キャリアノートの活用

- ・地域行事(クリーン作戦等)への児童生徒の参加でふるさと意識の向上が見られた。
- ・地区小規模行事などで地域の方々と共に活動することで、自己有用感が高まっている。
- ・キャリアノートで、児童生徒が生涯を見据え、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感し、将来の生き方・働き方を考えるとともに、社会との繋がりや社会における自らの役割を考えることができるようになった。小学校1年生からの振り返りが常にできる。

「キャリアノート」とは、学んだことや自分の成長を記録するノートです。その時の自分自身の考えていることや思っていること、活動したこと、学んだことを記録していきます。



小中共通家庭学習のすすめ



地区小規模行事に参加  
高柳しめ縄づくり教室



各校で、自主学習の  
取組の成果を掲示

### ○小・中合同の教職員研修

- ・小中学校の教職員間で協力して、ICT機器を活用した新しい学習法が推進できている。
- ・小中学校の教職員間で互いの学校の取組の良さを取り入れた指導ができている。
- ・児童生徒の情報交換が進み、きめ細やかな個別の指導が充実してきた。

「小中一貫教育」はスタートし6年目となりました。今年も「めざす15歳像」を目標に、「学力向上」と「地域の活性化」の2つを大きな柱として取り組んでいます。小学校と中学校の教職員が一緒になって子どもたちに関わり、育てていく所存です。

各校はコミュニティスクールとしても歩みを進めています。今後ますます保護者の皆様や地域の皆様のお力を借りることになります。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

